

2019年6月25日

記者発表資料

株式会社タックエンジニアリング
代表取締役社長 安野 雅満

MADE IN IWATE の立体地形図「赤青立体地図」販売開始について

株式会社タックエンジニアリング（代表取締役社長：安野雅満）は、新たな3次元測量技術を県内に普及する活動を地元技術士会の研究会や岩手県測量設計業協会 i-Construction 部会などを通じて積極的に行っております。

この度株式会社横山空間情報研究所（代表取締役社長 横山隆三 岩手大学名誉教授）の特許技術『一定垂直倍率立体地形解析図』作成法を承継し、『赤青立体地図』（商標登録中）として作成・販売を開始しました。

岩手大学で開発されたこの要素技術を、地元岩手の企業が引継ぎ作成する、まさに「メイド・イン・岩手」の地図であり、今後は地元岩手から日本国内のみならず世界に同技術で広く貢献したいと考えています。

作成範囲は、国土地理院の地形図と同範囲で日本の国土全体をカバー（50万分の1、20万分の1、5万分の1、2.5万分の1）しているほか、衛星データをはじめとして、UAVの計測データなどから、オーダーメイドで世界のどの地域でも「赤青立体地図」作成を請け負うことが可能です。

既に「赤青立体月球儀」や「プレート・テクトニクス 赤青立体地球儀」などの試作にも成功しており、地形情報を必要とする専門家のみならず、世界の子供たちにも地球や衛星・惑星など、これまでの地図では理解できなかった、天体レベルでの自然のすばらしさ・不思議さも肌で感じ、知ってもらえる地形表現技術です。

この素晴らしい技術で、産業界のみならず、教育の現場にも是非貢献したいと考えています。

本技術は、これまでの実体視のように立体に見るための訓練は不要で、付属の赤青メガネさえあれば、誰もが立体画像を見られることも大きな特徴となっています。

もちろんこれまでの一般的なアナグリフ（赤青メガネを使用し立体に見える画像）とは異なり、地形の解析目的に応じて最適な垂直倍率で地形の特徴を示す情報を提供するところに特許技術が生かされており、現地で地形を観察するよりも地形の詳細な情報が読み取れる「見えないうところが見えてくる」優れた3次元地形情報を提供するものです。

今後この技術は、地形・地質解析や地形情報を必要とする国内のすべてのユーザーに提供するほか、国内外に広くこの技術を普及すべく、販売代理店などを全国に展開したいと考えています。

MADE IN IWATE の「赤青立体地図」を広く国内外に普及させ、これまでの地形図と同等かそれ以上の社会的な貢献ができればと、関係の皆様と連携して取り組んで参る所存ですので、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

●説明資料：

1) 赤青立体地図とは

『赤青立体地図』は、赤青メガネなどを使って各種地図情報を立体視できるように加工処理した地図です。簡単に立体視できることから、調査用途の専門家から防災の自治体担当者や住民、また教育分野など幅広く活用することが可能です。

赤青立体地図は一般的な平面図と比べて地形の凹凸も同時に観察でき、豊富な情報を表示・判読できます。また標高データに基づいて右目・左目用画像を調整し、距離に対する標高の倍率（垂直倍率）を一定に維持した立体視であるため、他の立体視画像と比べて正確な情報を抽出できます。

2) 赤青立体地図の特徴

広範囲の地形解析図を任意の方向に向けた画像が作成でき、これまで見えなかった広域的な地形・地質構造が把握できます。観察は赤青メガネを通して見るだけであり特別な訓練は必要なく、同時に多人数で観察できる事など、空中写真の実体視法に比べて種々の利点があります。

なお、赤青立体地図の作成に適用する“垂直倍率を一定値に維持して正射投影の立体視画像を作成する方法”については「特許第 5927608 号」として登録済みであり、弊社では発明者の横山隆三岩手大学名誉教授より同特許権の独占的な使用・販売権を得ております。

3) 赤青立体地図の種類

赤青立体地図は様々な地図情報を表示できます。

- ① 斜度図：地表の傾斜角を白黒階調で表した画像で、濃淡や模様から地すべり地形、斜面崩壊、土石流などが把握でき、総合的な地形解析に適しています。
- ② 開度図：地点の地上や地下の空間の広がりや白黒階調で表した画像で、火山地形や地すべり地形、谷構造や水系の把握に適しています。
- ③ 空中写真や衛星画像：地表状態の把握に適しています。衛星画像では周辺領域も含めた過去からの膨大なデータを活用できます。
- ④ 一般図・主題図：地名や地物を把握できます。他図の判読結果や各種資料を重ねた図面も作成できます。

4) 活用分野

赤青立体地図は、以下の主な分野で活用することができ、応用範囲は無限です。

- 学術研究：地形、地質、活断層、海底・河川・湖沼地形
- 教育：教材、展示資料
- 調査：環境、公害、遺跡・遺構、放射能分布、電波施設配置
- 災害・防災：地すべり、崩壊、土石流、落石、震災、津波、洪水等災害情報把握
- 建設・施設管理：道路、ダム、宅地造成、ILC、原子力
- 資源探査：地下資源探査、地熱探査 など

問い合わせ先：株式会社 タックエンジニアリング
住所：〒020-0836 岩手県盛岡市津志田西 2-3-20
TEL：019-638-2001 FAX：019-638-2003
<http://www.tac-e.co.jp/>

以上.